

# GL301 タイ・ボランティア 体験談

コミュニティ福祉学部 山崎さん

## 【参加の動機を教えてください。】

もともと海外に対してカッコいいイメージを持っていたこともあり、海外に行きたい意欲がありました。大学で福祉を学び、国によって環境が様々であり社会の仕組みによって個人では解決出来ない事もあり、地域によって様々な問題があるのだということを知りました。そこでただ単に華やかな場所で旅行を楽しむだけでいいのかと疑問を持ちました。そして発展途上国での海外ボランティアに興味を持ち、夏休みという長期休みだからこそ出来る長期期間での立教プログラムであるこのプログラムを選択しました。またボランティアだからこそ出来る現地の方々とのお話や参加者との出会い、協力する活動に惹かれたからです。さらに強くなりたい、自分を変えたい、視野を広げる良い機会にしたいと思ったからです。



## 【具体的にどんな事をしましたか？】

村には整備されていない道があるので、山を削って道路を作ったり、竹の家作りをしたり、町作りに一から関わって、こうやって町は作られていくのかと全身で学ぶことが出来ました。汗をかく大変な作業でしたが仲間同士で励ましあいながら絆を深め、楽しく出来ました。思っていた以上に綺麗に仕上がりますがすがしい達成感を味わえました。タイでは、無国籍の子もいるので、海外に行けないこともあります。自分の暮らすコミュニティ以外の世界を知る機会がないのです。そこで、異文化に触れるきっかけを作るために私たちが小学校や幼稚園に行き、日本語を教えながら交流しました。幼稚園生は笑顔で迎えてくれてくっついて離れなかったり、とにかくかわいかったです。小学生は日本語で話そうと頑張って話しかけてくれました。学ぶ楽しさや異文化に少しでも興味を持っていてくれたら嬉しいなと思います。

## 【現地での生活はどうでしたか？】

受入先の施設に滞在していました。ここにはタイのインターン生や日本の各地や海外からのボランティア生が集まるので、たくさんのお会いが詰まった場所でした。休日は観光巡りを中心に過ごしました。ワットファイブラーカンという白い大きな大仏など、素敵な寺院を見学しました。ナイトマーケットや、ショッピングセンターでお買い物をしたり鍋パーティーをしたり一緒に楽しく過ごしました。

## 【この経験をどのように生かしたいですか？】

この経験を通してまず、当たり前な生活に幸せがたくさん転がっているのだと気づき、小さなことにも喜びを得られるようになりました。この環境を無駄にせず色々なことに挑戦していこうと思います。ここで出会う人たちは本当に優しく温かくてゆったりと過ごしていて故郷のようになりました。さらに、1番大きな存在であった仲間を得ることが出来ました。また色々な人と出会うことで刺激を受けたり、自分を見つめ直す良い機会になりました。人の笑顔を見るのが好きだと感じたので将来は誰もが住みやすく互いに助け合いながら笑顔あふれる町づくりをしたいと思いました。

